



ウイズレター

編集・発行：ウイズを支える会



ホームページ <http://npo6seiwith.sakura.ne.jp/>

WITH LETTER

Vol. 50

2022.2.28



ウイズ半田 ● 〒431-3124 浜松市東区半田町104-3 / TEL 053-435-5225 / FAX 053-435-5955 / E-mail: with@s8.dion.ne.jp

ウイズ蛸塚 ● 〒432-8018 浜松市中区蛸塚1-9-12 / TEL 053-489-5560 / FAX 053-489-5561 / E-mail: with-shijimi2008@ab.auone-net.jp

ウイズレター50号発行記念 表紙プレイバック



記念すべき第1号(1996年)
積志公民館で行われた開所式



第19号 開所10周年記念イベント
最後は「ピリープ」の大合唱



第23号(2008年) 第2ウイズ建設中!! (現ウイズ蛸塚)



第41号 白杖づくり体験合宿

眼力と視野

特定非営利活動法人六星 代表理事 斯波千秋

視覚に関する障害年金の認定基準が令和4年1月1日より一部改正されました。視力の基準が「両目の視力の和」から「良い方の眼の視力」と変わり、視野に関してはこれまでの測定方法に加え自動視野計に基づく認定基準を創設しました。今回の改正により障害年金の等級が上がります。障害年金が増額となる可能性もあります。2級・3級の障害年金を受給されている方は眼科医院やお住まいの地域の年金事務所又は年金相談センターへお問い合わせ下さい。

私達NPO法人六星・ウイズの大きな役割は視覚障害に特化していますが「障害」のある人達の社会参加と社会の中での自立をサポートすることです。その為にまず家から出て、多くの人達と接して楽しく充実した一日を過ごすことのできる居場所、そしてその方のペースに合った仕事をして収入を得る場所、また仕事を通して社会と繋がる「窓」としてのウイズが存在しています。

さて、社会参加を応援する私達職員は果たしてちゃんと社会参加をしているでしょうか？世の中、社会はあらゆる生き物、人間、そしていろいろな事象が繋がって流れています。その流れを知る事が社会参加の第一歩です。知る為の大切な利器が新聞です。日々新聞を読み、ワクワクしたり、おかしい？や怒りを感じたりして社会の動きを知るのです。いくつかの新聞を読み真実を見極める眼力と世界の広がりや繋がりを俯瞰できる広い視野を持ちたいものです。

近況報告 〈ウイズ半田〉

サービス管理責任者 金谷 淳子

新しい年を迎えた早々の1月、寒波とコロナの波が再来し、気の抜けない2022年のスタートとなりました。感染防止対策を徹底した生活が続いていますが、幸いなことに利用者の皆さんのお仕事には大きなダメージがなく、年間を通して下請け作業や自主製品でも安定した収入を得ることができました。

その中で、ウイズの大切な仕事である点字印刷は、数年前から選挙関連のものが増えています。衆参総選挙から地方自治体の選挙まで、投票用紙や投票所に掲示される候補者氏名表の点字印刷の依頼は随時あり、さらに今年度は開票所での点字投票解読という仕事もいただきました。初めての体験でしたが、点筆で丁寧に書かれた点字の投票用紙を見た時、それを書かれた方の強い意志が伝わってくるようで、また、参政権を獲得するまでの先人達の熱い思いとが重なり、感動を覚えました。

一方、20年以上にわたり「広報はままつ点字版」を製作していますが、その記載内容が5年前とは大きく変わってきていることに危惧を感じます。多くの記事で“詳細はホームページで確認して下さい”というフレーズが多くなり、自分の目で（指で）確認できる文字情報が減ってきているのです。この広報点字版を読まれている視覚障害の方の中で、何割の方がスムーズにホームページを開いて情報を得ることができるのでしょうか？ 発信する側はその事を想像できているのでしょうか？ 新たな情報提供の不平等の課題や情報格差が増えることが懸念されます。情報のデジタル化やペーパーレス化が進む一方で、やはり無くしてはならないアナログ文化の必要性も発信する事、それも私達の役割だと考えています。

近況報告 〈ウイズ蜷塚〉

サービス管理責任者 古橋 友則

聖隷福祉事業団の創立者である長谷川保氏らが蜷塚の松林に「ベテルホーム（神の家）」を建て結核病の青年を受け入れたのは1930年のことです。その後、長谷川氏らは三方原の広大な地に場所を移し、今日の聖隷福祉事業団の礎となるわけですが、それから90年ほど経ち、いまこの蜷塚の場所には「ウイズ蜷塚」と株HANKさんが運営する「しじみづか福祉の杜デイサービスセンター」があり、道路を挟んだ公園にはこの地が聖隷福祉事業団発祥の地であることが刻まれた園名柱が立っております。

ウイズ蜷塚が今年で15年目を迎えることができたのも、長年更地だったこの地にウイズを誘致してくださった「蜷塚まちづくり協議会」のおかげであります。当時のメンバーは多くが亡くなられたり転居されたりし協議会も解散となりましたが、その後も地元自治会を中心とした住民の皆様が協力してくださり、この地に福祉の「マインド」は着実に引き継がれていると感じています。ここ数年はコロナ禍で福祉まつりや共同防災訓練を実施することはできませんが、こんな時代だからこそ繋がることのできる取り組みを模索していきたいと思えます。

さて蜷塚では最近、作業中や昼休みなどに利用者さん同士でスマホやパソコンの操作を教え合ったり情報交換したりする姿をよく見かけます。自らの経験や得意分野、興味のあることを伝えあうことで互いに充実感や次への意欲を持っていただけると思えますし、これこそウイズの基本理念の一つである「『福祉人材の育成』次の時代の福祉を担う人材の育成に尽力する。」の姿であると嬉しく感じます。

お願い

布ぞうり材料のご提供求む!!

綿100%の浴衣・手ぬぐいなど

中古着等でもかまいません、ご協力をお願いします!

反物大歓迎!!

ご協力を
お願いします!

お問い合わせは ウイズ蜷塚まで TEL (053)489-5560

新年のご挨拶

NPO 法人六星理事・ウイズを支える会会長 柴田文雄

皆様こんにちは、ご無沙汰しています。ウイズを支える会の柴田です。
このウイズレターが皆様のお手元に届く頃は梅の花が満開になり、大山町の河津桜と菜の花もきれいに咲いている頃と思います。

改めまして新年おめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。この2年はコロナウイルスの大流行で、皆様いかがでしたでしょうか。私は天竜川と浜名湖の鉄橋を渡ることなく閉じこもり状態でした。今これを書いている1月半ばではやっとデルタ株が収まってきたと思いましたが、今度はオミクロン株が爆発的に広がってきて、また外出できない日々が続くのではないかと心配しています。

これまで、ウイズが小規模授産所として発足して以来、ウイズを支える会としてウイズ舘塚の建築、ウイズ半田の駐車場購入及び改築と増築、ウイズ主催のイベントや旅行の補助などに支援をしてきました。支える会の皆様方には本当に感謝を申し上げます。

さて、近年スマートフォンが普及し、使い勝手の良いアプリが出てきたこともあり、皆様も日々ご利用されていることと思います。コロナワクチン接種予約や連絡ゴミの予約もスマートフォンのLINEでできたり、県外の自治体によっては町内回覧板もLINEによる所が出てきていると聞きます。見えない、見えにくい視覚障害者もスマートフォンを利用してより便利な社会生活を送っていききたいものです。

そこで、ウイズでは2年ほど前から視覚障害者に効率的で役立つスマートフォンとパソコンサポートについて関係者の方々との意見交換を経まして、昨年からザザシティで視覚に障害を持った方々に参加希望を募り、一ヶ月に1回スマートフォンとパソコンの講習会を開催してきました。参加希望者は回数を重ねるごとに増え、月に1回では十分なサポートができないこともあり、まだ未確定段階ではありますが、新年度の10月から市内中心部において常時サポートができる新事業のスタートを計画しているとのことです。この事業は視覚障害者の社会生活の質の向上が期待されるものでありますが、経費もかかることから支える会からも支援をしていきたいと考えています。どうかご理解をお願いしたいと思う次第です。

まだ寒い日が続きますが、次第に春の兆しが強まり、だんだんと暖かくなることと思います。皆様どうぞお気をつけてお過ごし下さいませ。

● 「ウイズを支える会」 総会 についてのお知らせ ●

令和4年度のウイズを支える会総会については、新型コロナウイルスの収束が見えないため、昨年に続き書面にて行わせていただきます。4月になりましたら、議事を記した総会案内を郵送致しますので、よろしくお願い致します。

ICT 支援事業報告

昨年4月から県視協より担っている「西部地区視覚障害者リハビリ教室」は新型コロナウイルスの感染拡大により中止する月もありましたが、毎回10名前後の参加があり、iPhoneの基本的な使い方やアプリの設定、iPadへの楽譜の取り込み方など受講者の希望に合わせて基本的にマンツーマンで講習を行っています。またそれに合わせて職員や外部講師も事前準備をする中で、少しずつですがスキルアップを図っています。最近ではICTに関心のあるウイズ利用者さんや地元の大学生が講師と一緒にサポート役を担うようになってきており、新たな人材の育成も徐々に進んでいます。

このリハビリ教室はICT関連の支援だけでなく、歩行や日常生活によるちょっとした悩みなども一緒に考える場としていますので、お気軽に見学やご相談いただければと思いますし、支援者も随時募集しております。

ウイズが新規事業として開設を目指している生活訓練事業も来年度中には市中心部にて始めることができそうです。次号には詳細をお伝えできると思いますので、ご関心のある方はウイズ半田までお電話ください。
(半田スタッフ 宮本)



視覚障害リハビリテーション訪問記

いがらし あき
歩行訓練士 五十嵐 暁

2021年10月、「恋です！ヤンキー君と白杖ガール」というロービジョン（弱視）の女の子が主人公のドラマがテレビ放映されました。このドラマではロービジョンの方の生活に視点が置かれ、拡大読書器やルーペ、スマホ等のお役立ちの道具や、人によって見え方は異なる等の様子が描かれていました。ウイズの利用者さんはもちろん、多くの方々がこのドラマを見ていたように感じます。以下ドラマを見た方々の感想です。

Aさん：「視覚障害＝全く見えない！とばかり思っていました！」

Bさん：「視覚障害の方が困っていそうな時は声をかけようと思いました。」

Cさん：「白い杖の事を白杖（はくじょう）と言うんだね。そして白杖をコンビニ等で買えると軽く考えていましたが違うという事が分かりました。」

等の声が聞かれました。

人に声をかけるというのは勇気がいります。しかし視覚障害のある方にとって道に迷った時、道路横断、駅のホームというのは不安でいっぱいです。そんな場面等で白杖を持った人を見掛けた際には「何かお手伝いする事はありますか？」と声をかけてくださると助かります。皆さんのその一言で視覚障害の方が住みやすい社会になっていきます。

これからも視覚障害の方が安心・安全に生活できるよう啓発活動や訓練等を行っていきますので、よろしくお願い致します。

訃報

ウイズ蛭塚が開所して2年目からの3年間ほど月に一度「俳句の会」を開催していました。ご本人も視覚に障害のある高橋たか子先生が講師をして下さり、素人が作ったまったくでたらめな俳句もその場で添削して下さり、とても頭の回転が速かったのを覚えています。

そんな高橋先生ですが、昨年10月に101歳にてご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

●視覚障害者を取り巻く今昔（職業編）

ウイズには永年鍼灸マッサージ（三療業）で生計を立て、ご高齢になられて「気軽に仕事がしたい！」と通われる方も何人かいらっしゃいます。1970年代までは、盲学校で学び三療の免許を取得した若い卒業生を治療院に住まわせ、技術やコミュニケーションを指導する「大先生」がたくさんいらしたものでした。数年の修行を終えると自分の家を建て独立開業したものです。

今では「^{とてい}徒弟制度」のようなシステムは成り立たなくなりました。三療の免許は1993年のアンマ鍼灸師法の改正により、技術重視の県知事免許試験から、技術試験なしのマークシート方式の国家試験へとなり、視覚障害者にとって冬の時代となりました。

鈴木幸枝さん達の活躍された「時代」は、視覚障害のある人達にとって努力すれば報われる「時代」でした。今回はウイズ蛸塚に通う鈴木幸枝さんに書いていただきました。（斯波）

私の修行時代

ウイズ蛸塚 利用者 鈴木幸枝（78歳）



昭和49年の3月に4年間通った浜松盲学校理療科を卒業して、治療院勤めが始まりました。その頃視覚障害者には、家を貸してくれる大家さんはいませんでした。火事の心配があるからです。独立するためには、絶対に家が必要でした。（消防庁始まって以来、盲人の家からは火災は出ていないです。）

31歳で勤めはじめて、無我夢中で時間が過ぎて行きました。半月ぐらい過ぎた頃でしょうか、肘から下が痛くなり手首から下が腫れてきて、お箸など何か持とうとしても上手く持つことができず困りました。盲学校では時間割に沿ってやるだけで揉む時間がまるで違います。1ヵ月くらい過ぎたらそれも治りました。それはみんな通る道です。それから色々なことに気づかない私は、治療院の先生の雷がよく落ちましたが、その雷は後を引かずとても助かりました。先生が「さっちゃん」と呼んでくれましたので、患者さんもみんなそう呼んでくれました。

治療室はいつもラジオがかかっていました。ある夜、当時のイギリスの首相サッチャーさんの洋服を作っておられる日本人男性の話がありました。その時私が治療していた男性が「さっちゃん、がんばれよ。イギリスの首相とおんなじ名前だでなあ」と言ってくれ、「伸ばしがあるとないとじゃあ、大違いだね」私も笑ってしまいました。

こうして5年くらい経った頃、父の口から家を建てる話が出ました。そんな時先生が脳卒中で倒れてしまい、家の話は引っ込んでしまいました。そして「私でもいい」という患者さんをやらせてもらって2年が過ぎました。5年間、先生の羽の下でぬくぬくとやらせてもらっていたのが身にしみてわかりました。

歌が好きな私は仕事の無い時はよく鼻歌を歌っていました。何年か経った時、先生の一番下の娘さんが「さっちゃんは歌が好きだねえ。お母さんはその歌に、うんと救われたんだよ。さっちゃんがお父さんに怒鳴られても怒鳴られても歌ってたから」と言ってくれました。この言葉を聞いた時、ちょっと恥ずかしかったですが嬉しかったです（笑）。私の口から鼻歌が出るうちは大丈夫です。昭和55年の暮れに待望の家が建ち、独立開業しました。



クリスマス会



& 永年勤続表彰



今年もコロナの影響で合同での開催は叶わず、昨年同様リモートクリスマス会となりました。前半は永年勤続表彰式。表彰者5名の皆さんをお祝いしました。

昼食は豪華な和食弁当とお吸い物、チキンといちごのカップケーキとボリュームたっぷり。クリスマスソングが流れる楽しい雰囲気の中お腹も心も満たされました。

プレゼント交換は施設ごとで楽しみ、再び両施設をリモートで繋ぎクリスマス会後半へ。

後半のスタートは半田利用者さん6人による【上を向いて歩こう】のハンドベルの演奏から始まりました。息の合った耳心地の良い演奏♪「もっと聞きたかった！」

の声が多数聞かれました。利用者さんからの「リモートでも交流がしたい」の声を受け、今年は利用者さん同士が交流できるQ & Aコーナーの時間を作りました。「ウイズでの楽しかった思い出は?」「応援しているスポーツチームは?」などなど…。制限がある中での交流会でしたが「お話ができ楽しかった」「応援している野球チームと一緒に嬉しかった」と嬉しい感想が聞かれました。

最後は全員で♪きよしこの夜♪の大合唱。昨年に引き続きアットホームなクリスマス会、これはこれでいいものです。(半田スタッフ 岡田)



スクリーンに映る半田利用者さん達のハンドベル演奏に、蛭塚のみんなが聴き入ってます!



あささんのプレゼントはゴージャスなスヌード!! “マダム あさ” に変身!

ウイズ半田 利用者 片岡祐紀

今回初めて 司会をつとめさせていただきました。とても緊張したけどとても楽しかったです。プレゼント交換はじゃんけんでしたが、楽しかったです。ありがとうございました。



あなたの名刺に点字を入れてみませんか!!

浜松太郎
.....

浜松次郎
.....

浜松三郎
.....

ウイズ半田・ウイズ蛭塚では、毎日毎日点字名刺印刷をやっています。
是非、見にいらして下さい。

☎お問い合わせは **半田** 053-435-5225 または **蛭塚** 053-489-5560 まで

※宣伝・紹介用のチラシ、カードなどがあります。宣伝・ご紹介にチラシが必要な方、チラシをお店などに置いてご紹介いただける方はお知らせ下さい。

永年勤続表彰者感想

がんばり
ました!

20年表彰



ウイズ半田 利用者

菅沼 直哉

16歳でウイズに入って、20年経ちました。いろんなことがありましたが旅行で山梨

県のワイン工場の見学が楽しかったのをよく覚えています。

表彰の記念品はフリースジャケットをいただきました。嬉しくて、ウイズにも着て行っています。

次は30年目指してがんばります。その時までいるかな?(笑) これからもよろしくお願いします。

10年表彰



10年間を振り返って

ウイズ蛭塚 利用者

はま 愛里

この度は10年表彰をいただき、誠にありがとうございました。

ました。

この10年を振り返るといろんな事がありました。3年前に転んでしまい左足が動かなくなっていました。リハビリを続けましたが上手くいかず、結局その事がきっかけで生活が180度変わりましたが、あらたな自分を受け入れていきたいと思っています。今の生活がどこまで続けられるかわかりませんが、がんばっていきたいと思っています。皆さん、よろしくお願いします。

5年表彰

ウイズ半田 利用者 **南澤 満雄**

ウイズ半田に御世話になりまして丸5年経ちました。私にとってあっという間の月日でした。今でも脳裏にいろいろな作業が思い起こされます。私は当初「教養(今日、用)・教育(今日、行く)」という言葉に掲げました。これは「**今日も用事があり、今日も行く**」という事。つまり老人ボケ防止です。そんな事を言っている私も、今年は古希(70歳)になってしまいました。ボケ大丈夫かな? さあ次は勤続10年を目指して頑張るゾー!



この5年を振り返って

ウイズ蛭塚 利用者

田中 光男

5年勤続表彰をいただき感謝申し上げます。今までいろ

んな事がありましたが、最初の3年はウイズの中での移動も机に足が当たるくらいでしたが、最近はトイレに行くのも迷うほど目が悪くなってしまいました。ウイズで、もちつきのイベントが賑やかで一番楽しみでしたが、コロナの関係でできないことが寂しいです。これからもお世話になりますのでよろしく御願います。

ウイズ半田 利用者 **石野 匡信**

まさのぶ

5年勤続表彰していただきましてありがとうございます。今思えばあっという間の5年間でした。これもウイズのスタッフさん、利用者さん、支えて下さっているボランティアさん、多くの方たちのお陰です。本当にありがとうございます。

私の楽しみは、スマホやタブレットを使い音楽を聴いたり情報を調べることです。今も分からないことだらけですがスタッフさんに教えていただきながら楽しんでます。

「自分以外はみんな師匠」をモットーに10年目を目指し頑張ります。今後もよろしく御願います。

● パラスポーツシリーズ①



静岡県下唯一のブラインドサッカーチーム（ウイズ蛸塚が拠点）

FCコレチーボ静岡が記念すべき1勝をしました！

2021年11月14日浜松市フルーツパークサッカー場での第19アクサブレイブカップ日本選手権大会にて強豪MixSense名古屋を相手に大健闘し、PK戦でしたが初ゴール、初勝利を勝ち取りました。



※ ブラインドサッカー（5人制サッカー）の特徴

- ・フットサルのルールを基に考案された5人制サッカー。
- ・シャカシャカと音のするボールを利用し、サイドラインには腰上の高さの壁(約1m)を設置する。
- ・フィールドプレイヤーは4人で、全員アイパッチ + アイマスクをする。国内大会では晴眼者も性別関係なくプレイできる。
- ・キーパーは晴眼者または弱視者が務める。また、センターライン付近サイドフェンス外側に監督、相手チームのゴール裏側にガイド(コーラー)がいる。
- ・コーラーは自チームの選手に、相手や味方の選手の位置やゴールまでの距離・角度、シュートのタイミングを声で知らせる。
- ・プレイヤーはボールを取りに行く時は危険な衝突を避ける為、「ボイ(行くVoy: スペイン語)」と声を出さないといけない。
- ・観客は静かに心の中で応援を。(シュートが決まったら大きな歓声を！)

パラサッカーは7種あり、それぞれいろいろな工夫があります。また、いろいろな障害のある人達と無い人達、大人・子ども・みんなが混ざり合う「なぜこぜウォーキングサッカー」があり、基本ルールはピッチを走らない、ボールを奪いにいかない(パスの妨害は良い)、そして何より笑顔でプレイすること！



ブラインド
視覚障害



デフ
聴覚障害



CP
脳性まひ



電動車いす



アンプティ
足・腕切断



ソーシャル
精神障害



UD
知的障害

FC コレチーボ静岡の現状

- ・選手 15 名の内 9 名が視覚障害
- ・サポーター（監督・コーラー・運転手など）13 名
- ・スポンサー 7 社、協賛 7 社

あなたも一緒に楽しみませんか？

お問い合わせは FC コレチーボ静岡の HP の
お問い合わせフォームまで！

HP : fc-coletivo.com

NEW MEMBER

みなさん、こんにちは★

ウイズ半田 スタッフ 小野千里

10月にウイズ半田へ仲間入りさせていただいてから2月で4ヶ月が経ちました。

爬虫類と家猫の黒豆をこよなく愛し、声がよく通ると言われる小野千里です！

前職はトリマー（犬猫の美容師）をやっていて、今でもたまに知り合いの子達のシャンプーカットをお願いされたら自宅でやって楽しんでいます。

ウイズへは自転車で元気に通っているのですが、さすがにこの時期の遠州のカラッ風には寒くて負けちゃいそうです（泣）

このたった4ヶ月の間に、誕生会・クリスマス会・ボートレース浜名湖でのグッズ販売などなど・他にも沢山ありますが、どれもこれも一緒になって楽しんだり、笑い合えるとても温かい居場所であると共に仕事の時は集中して行えるようなしっかりメリハリのある素敵な場所だと感じています。

今はまだ先輩スタッフからはもちろん、利用者さんからも日々教えてもらうばかりのヒヨッコ職員ですが、後々はその人がその人らしく、やりがいを感じられる事へのお手伝い出来るよう“みんな仲良く楽しく一生懸命”をモットーに頑張っていくので皆さんビシバシ鍛えてくださいね！

2021年・令和3年は 静岡県立浜松盲学校→浜松視覚特別支援学校の創立100周年でした

ウイズ半田・蛭塚には浜松視覚特別支援学校を卒業して1年目の方から浜松盲学校を卒業してから60～70年の大先輩方が多数通所されています。

1921年(大正10年)に開校し、昭和・平成・令和と100年の歴史を積み重ね現在に至ります。斯波の運営する昭和29年創業の「盲人福祉研究会」は白杖や治療鍼などの販売で60年以上の関わりがあり、またウイズとしては、開所以来25年間卒業生を受け入れるだけでなく、月1回の購買部の運営や福祉機器展を開催しています。そして生徒さんたちの歩行訓練や教員への研修、相談などでの関わりがあります。これからも福祉と教育の一層の連携を深めていきます。(斯波)



100周年記念誌とオルゴールの記念品



京都のサン工芸、盲人福祉研究会、NPO法人六星・ウイズが共同で寄付した世界触地図 夢は世界へ!

ウイズ農園だより20

ウイズ半田の畑はとても広くてスタッフは毎年夏になると草刈りに追われ、野菜のお世話までなかなか手が回りません。草刈りをしても野の草も負けじと伸びるため、野菜が負けて思ったよりも収穫が…という状況が続いていました。でも今年は強力な助っ人の登場もあり、いつもより豊かな実りを楽しませて頂きました。モロッコインゲン、かぼちゃ、タイガーマロン、トマトにオクラ、ナス、ピーマン、ゴーヤ、キュウリなどなど。昼食のお味噌汁やカレーの具になったり、時には美味しいおかずになったり。

プランターでは初めてフルーツほおずきを育てました!たくさん実ったので、順番に皆さんに食べて頂きましたが、「美味しい!」「酸っぱい!!」「キウイフルーツみたい!」などの感想が聞かれました。



「今年もたくさん獲ったど〜!」

秋には今年も有志でサツマイモを掘り掘り。大きなものは少なかったですが、甘さは抜群!!大きなものは利用者の馬場さんがおうちで焼き芋にしてくださり、お茶の時間にみんなで楽しみましたが、本当に甘くて美味しかった〜!

今は寒くて凍えるような畑ですが、甘い太ネギや大根を味わいつつ、春に向けて玉ねぎやグリーンピースが小さなからだで暖かくなるのを静かに待っています。

今年もどんな畑になるのか楽しみです!!

(半田スタッフ 松下)

ウイズにケバブ屋さんがやってきた！

9月30日、8・9月生まれの方をお祝いする誕生会に、中東のお料理であるケバブサンドのお店を営むシハタ・ソブヒさんが、自らキッチンカーのハンドルを握って駆け付けて下さいました。元々、斯波さんのお知り合いということで、今回ウイズの皆さんに御馳走して下さいることになったのです。

小雨が降る中、皆さんが濡れないようウッドデッキに横付けされたキッチンカーに一人ずつ行って注文すると、車の中



初ケバブサンドに
「さあみんな、カブリついて！」

のシハタさんが元気な声で応じその場で熱々のケバブサンドを作り渡してくれます。

席に戻って出来立てのケバブサンドを実食！殆ど全員が初めて食べるケバブサンドは、半円形の薄いパン生地の中に、スパイシーなお肉と生野菜がたっぷり挟まれ、選べる3種のソースとの相性も抜群！老いも若きも全員ペロリと平らげお腹一杯になりました。長～いポテトと、希望者はマンゴージュースまで一緒に美味しく頂きました。

コロナでイベントは殆ど中止、お出かけもままならない昨今、珍しい食べ物&体験を楽しむ貴重な時間となりました。ちなみに、シハタさんのキッチンカーは、ドン・キホーテ可美店で金・土・日曜の午後3時～午前2時に出店しているそうです。是非ご利用下さい！

※1月には半田の誕生会にも来て下さいました。



「おいしいケバブサンド。たくさん食べて!!」

(蛭塚スタッフ 四村)

皆様こんにちは

ウイズ蛭塚 ボランティア くればやし 樽林由香

月曜と水曜の10時から12時まで蛭塚でボランティアをしている樽林由香です。主にふくろう作りのお手伝いをさせていただいています。私がウイズを知ったきっかけは、網膜色素変性症の母から浜松に視覚障害の方の支援施設があるということを知ったからです。子供たちが大きくなったら、ボランティアをしたいと考えていました。娘たちも参加を申し出てくれたので勇気を出して電話した次第です。

ウイズに来て感じたことは、みなさんがとても明るくてユーモアいっぱいということ。蛭塚では笑い声がよく聞こえます。母も外ではこんな風に明るく過ごしてくれていると思います。私が小さな時から我が家では「椅子は使ったら必ずしまう」「床に物を置かない」が鉄則でした。明るい日ばかりではなく、見えないことから来るストレスや不安から母は機嫌の悪い日もありました。でもお陰で私はなんでも自分でやってみる楽観的な人間になりました。

視覚障害があっても家に籠ることなく気軽にコミュニケーションを楽しめ、生活の様々な情報も仕入れることができるウイズのような支援施設が日本中に増えることを願っています。そして医学が進歩してもっと多くの方々に光が届く日が早期に実現しますように。

2021年

～ ウイズの活動記録 ～

《2021年8月～2022年1月》

8月

- 7日(土) 連合会・わ新任職員研修
 11日(水) (蛭塚) サマーショートボランティア受入
 12日(木)～16日(月) 夏季休暇
 18日(水)～20日(金) 静岡文化芸術大学UD講座

9月

- 7日(火)～30日(木) (蛭塚) 健康診断
 8日(水) (蛭塚) 防災訓練
 13日(月)～10月5日(火) (半田) 健康診断
 15日(水) ICT検討会議
 23日(水) 開所日
 27日(月) 井伊谷小学校出前授業
 瑞穂小学校出前授業
 30日(木) (蛭塚) 誕生会(シハタさんケバブ
 キッチンカー)



(蛭塚) 散歩レク
 近くの宗源院にて

10月

- 1日(金) 有玉小学校出前授業
 4日(月) 可美小学校出前授業
 8日(金) 白脇小学校出前授業
 12日(火) 伎部小学校出前授業
 14日(木) 双葉小学校出前授業
 14日(木)～12月2日(木) 半田・蛭塚スタッフ交流研修
 19日(火) 船越小学校出前授業
 21日(木)・22日(金) (蛭塚) 野菜市
 21日(木) 広沢小学校出前授業
 22日(金) 北浜小学校出前授業
 28日(木) 西部リハビリ教室
 29日(水) (半田) 誕生会(くら寿司・笑門テイクア
 ウト)

11月

- 2日(火) ICT検討会議
 船越小学校出前授業
 4日(木)・5日(金) 積志中学校出前授業
 8日(月)～19日(金) (半田) 浜松視覚特別支援学校
 実習1名
 16日(火) 白脇小学校出前授業
 22日(月) 可美小学校出前授業
 24日(水) 積志中学校出前授業
 25日(木) 西部リハビリ教室
 26日(金) (蛭塚) 誕生会(江戸松・うたかテイクアウト)
 29日(月) 北浜小学校出前授業

12月

- 1日(水) 雄踏小学校出前授業
 5日(日) 半田町自治会防災訓練参加
 8日(水) 声かけサポーター講習
 10日(金) 六星理事会
 11日(土) 連合会・わ作業所学会
 13日(月) 井伊谷小学校出前授業
 17日(金) クリスマス会&永年勤続表彰式(リモート)
 23日(木) 西部リハビリ教室
 27日(月) 利用者仕事納め
 28日(火) スタッフ仕事納め
 28日(火)～1月4日(火) 冬季休暇

1月 2022年

- 5日(水) 仕事始め
 8日(土)・9日(日) 浜名湖競艇場にてウイズ製品販売
 15日(土) 開所日
 (半田) ボーイスカウト浜松24団見学・龍
 秀院初詣
 25日(火) (半田) 誕生会(シハタさんケバブキッチンカー)
 26日(水) ウイズを支える会役員会
 31日(月) (蛭塚) 誕生会(あさくま・五味八珍テイク
 アウト)

※日々の中でこんな活動もしております。

(レク=レクリエーション)

- ・創作レク
- ・おやつ作りレク
- ・ICTレク
- ・LINE講習
- ・プレクストークレク
- ・買い物レク
- ・散歩レク

SNSもご覧ください！

日々の活動、製品情報など掲載しています！

 Facebook

 Instagram

 twitter

いずれも
 [rokuseiwith]で
 検索！

♡♡ ありがとうございます！ ♡♡

「ウイズを支える会」会費納入者・寄付者 2021年8月～2022年1月【50音順、敬称略】

赤嶺尚宣・赤嶺桂子・浅風佳子・石山 均・大内和子・木村幸廣・佐々木 浩・斯波恵子・斯波千秋・柴田敦子・杉浦巧倫・杉山幸子・須山訓子・高橋たか子・立花明彦・堤 さよ子・豊島睦子・中山紘州・松田信治・宮地良次・柳澤朋秀・鷺山笑美子

協力者・寄付者（物品寄贈・イベント含む） 2021年8月～2022年1月【50音順、敬称略】

あいホール・昱耕機・五十嵐正吾・井熊勝年・池谷彰郎・市川健悟・伊藤友治・伊藤二三・伊藤美恵子・井ノ上美津恵・今井むつ子・いもねこ・大石政和・太田恵美子・大羽敏郎・小澤 優・小田島勢津子・手作りパン工房 風曜日・金子由美・可美地区民生委員（加藤、松下）・川本康子・菊池なおみ・喫茶びあ〜・喫茶ペンギン・木俣動物病院・木村眞智子・錦城護謨・金原せい子・国場栄子・グリーンボックス 医大前店・樽林あに香・樽林香穂・樽林由香・ケーキ屋くんちゃん・小出隆司・神戸ライトハウス・コープさんじの店・小杉孝枝・近藤富美代・酒井久江・坂井モーター・佐々木幸弥・佐々木富子・佐々木睦美・笹野里美・蜷塚二区自治会・シハタ ソブヒ・柴田敦子・柴田文雄・島田江津子・下奥重望・助産院 大地・鈴木恵美子・鈴木栄里子・鈴木のり子・鈴木正義・鈴木 勝・鈴木眞理子・鈴木利恵子・須部かつ子・高橋悟江・高濱悟郎・タケムラ写植・田口久美・田中恵津子・竹山富子・チャレンジドショップわ・鶴田満里・寺田みほ・東樹智香・戸塚尚代・富田泰寿・とも静岡店・内藤久美子・永井昭・長坂養蜂場・中道正子・中村秀樹・中村ゆかり・那須田真道・なないろカフェ・浪川光代・南部くみ子・野末慶子・野末孝夫・浜松科学館・浜松 NPO ネットワークセンター・平井明樹夫・藤島クリニック・細田とみ子・本間良子・松井敬子・松井幸代・松下芳子・松本かつ江・三津谷武志・三原すみ子・三室・三輪清・三輪浜子・村松初枝・望月美緒・八木良和・山下詠子・山本明子・吉田修一・半田、蜷塚地域の皆様・匿名の皆様

「ウイズを支える会」への

☆☆☆ 入会のご案内 ☆☆☆

「ウイズを支える会」では、会の目的に賛同し、継続的にご支援下さる会員を募っています。年会費は個人会員1口2,000円、団体（法人）会員1口10,000円といたします。

口座名「ウイズを支える会」
郵便振替口座 00820-5-71197



ウイズレターは音声CD版も発行しております。ご希望の方はウイズまで連絡下さい。

編集後記



ウイズ蜷塚ではアルミ缶を集めています。その売上は利用者さんの工賃に充てさせていただいておりますが、当初は、1ヶ月5.6kgで500円前後の売上でした。しかし近年利用者さんやそのご家族、そして近隣住民の皆様が持ってきて下さる事が増え、昨年12月は1ヶ月で20kg集まり、アルミの相場も高かったことから1,800円余の売上がありました。大変有り難くこの場を借りて深く感謝申し上げます。（皆様がアルミ缶をゆすいでお持ち下さいます。）これからも引き続きよろしく申し上げます。

さてウイズレター50号が発行できましたこと、ご寄稿下さった皆様、お読み下さった皆様に心より御礼申し上げます。これまでの、そしてこれからの1号1号に込められた思いを少しでも多くの皆様にお届けできますよう編集担当一同邁進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。 **（蜷塚スタッフ 内田）**